

1. 用紙設定ダイアログ

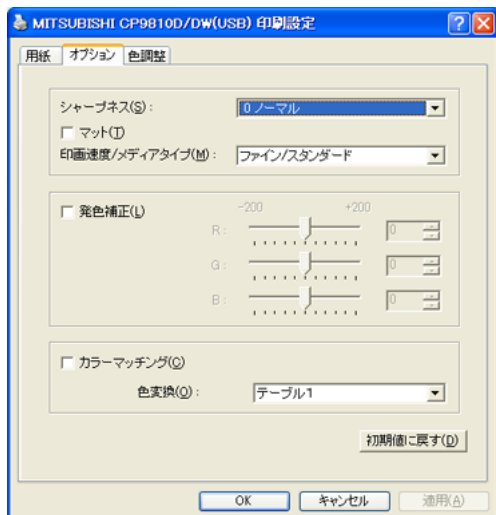


<図 16 用紙設定ダイアログ(Windows XP)>

- 1) 用紙サイズ
用紙のサイズを選択します。
用紙サイズ別プリント画素数を右の表に示します。
ポストカードをご使用の場合は、用紙サイズより、KG判(102×152 mm)を選択してください。用紙サイズの設定により、プリント画素数は異なります。
- 2) プリント画素数
各用紙サイズにプリントするための画素数を表示します。
- 3) プリントサイズ
プリントサイズを表示します。
- 4) 用紙の向き
用紙の向きを設定します。
- 5) 部数
設定値の数だけ同じ画像をプリントします。(設定範囲 1 - 680)
* 通常複数ページプリントするときは例のようになります。
(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果： 1p 1p 2p 2p 3p 3p
* アプリケーションによっては、上記のように転送しない場合があります。
(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果： 1p 2p 3p 1p 2p 3p になるように、アプリケーションが一部ずつ 2 回出力する。
- 6) 拡大 / 縮小率
拡大縮小の値を設定します。(設定範囲 25-400%)
- 7) 残量
接続されている CP9810D のインクリボン残量をバーで表示します。
プリンタが接続されていない場合やプリンタからの情報が読み込めない場合は、グレイアウト表示となります。
- 8) バージョン情報ボタン
プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。

用紙サイズ	プリント画素数(pixels)
L判(89×127 mm)	1572×1076
KG判(102×152 mm)	1868×1228
2L判(127×178 mm)	1572×2128
A5判(152×203 mm)	1868×2422
15×21(152×215 mm)	1868×2564
A5ワイド判(152×229 mm)	1868×2730

2. オプション設定ダイアログ



＜図 17 オプション設定ダイアログ(Windows XP)＞

- 1) シャープネス
なし / -3 / -2 / -1 / 0 / 1 / 2 / 3
輪郭補正の強さを変更できます。
なし : 輪郭補正を行わない
-3 ～ 3 : 値が小さいと輪郭がやわらかくなります。
値が大きくと輪郭がシャープになります。
- 2) マット
オーバーコートプリントをマット調に出力します。
- 3) 印画速度 / メディアタイプ
印画速度とプリンタに設定されているメディアタイプの組み合わせを設定します。

項目	印画速度	メディアタイプ
ファイン/スタンダード	ファイン	スタンダード
ファイン/ハイグレード	ファイン	ハイグレード
スーパーファイン/スタンダード	スーパーファイン	スタンダード
スーパーファイン/ハイグレード	スーパーファイン	ハイグレード

- 4) 発色補正
薄い色の色みを変更できます。
R : -200 ～ +200
値を小さくすると、赤みが弱くなります。
値を大きくすると、赤みが強くなります。
G : -200 ～ +200
値を小さくすると、緑みが弱くなります。
値を大きくすると、緑みが強くなります。
B : -200 ～ +200
値を小さくすると、青みが弱くなります。
値を大きくすると、青みが強くなります。

5) カラーマッチング

色の管理タブで設定されている ICC プロファイルにより、カラーマッチング処理を行います。
 色の管理タブで ICC プロファイルが設定されていない場合は、カラーマッチング処理が行われません
 ので、カラーマッチングを OFF に設定してください。
 ご使用になる ICC プロファイルは、印画速度 / メディアタイプの設定により、プリンタのプロパティ
 の「色の管理」タブから「手動」にて切り換えを行ってください。
 ICC プロファイルは、プリンタードライバー CD-ROM 内の ICCProfile フォルダ内にあります。

印画速度/メディアタイプ	対応ICCプロファイル名
ファイン/スタンダード	CP981FST.icc
ファイン/ハイグレード	CP981FHG.icc
スーパーファイン/スタンダード	CP981SST.icc
スーパーファイン/ハイグレード	CP981SHG.icc

6) 色変換

なし / テーブル 1

なし : 色変換を行いません。

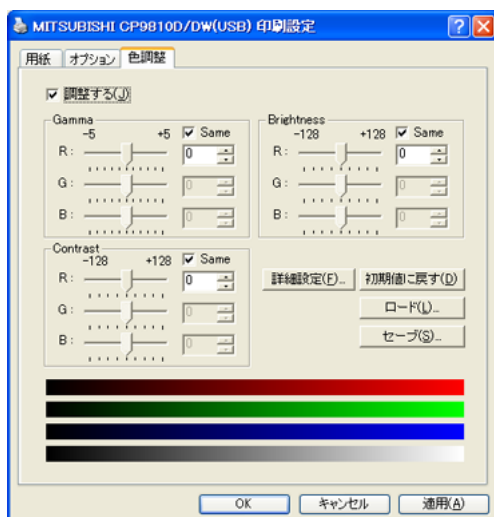
テーブル 1 : 色変換を行います。

カラーマッチングが ON に設定されている場合、色変換の設定は行えません。

7) 初期値に戻す

オプションダイアログ中の全ての調整値を初期値に戻します。

3. 色調整



<図 18 色調整ダイアログ(Windows XP)>

3.1. 色調整ダイアログ

1) 調整する

色調整を行う場合、チェックしてください。

2) Gamma

画像の中間調部の濃度を調整します。調整値(-5 ~ +5)

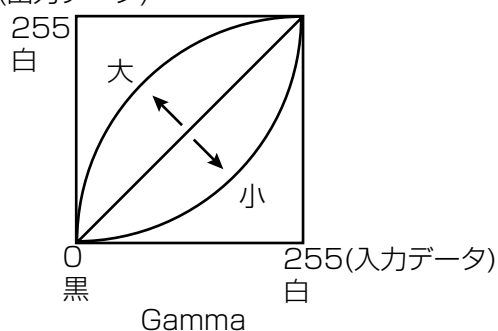
Gamma の値が小さいほど、中間調部が暗くなります。

Same チェックボックス

ON : R,G,B を同値に設定します。

OFF : R,G,B を異なった値に設定します。

(出力データ)



3) Brightness

画像のブライトネスを調整します。調整値 (-128 ~ +128)

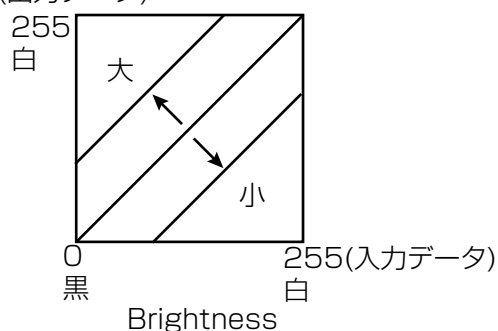
Brightness の値が小さいほど、画像全体が暗くなります。

Same チェックボックス

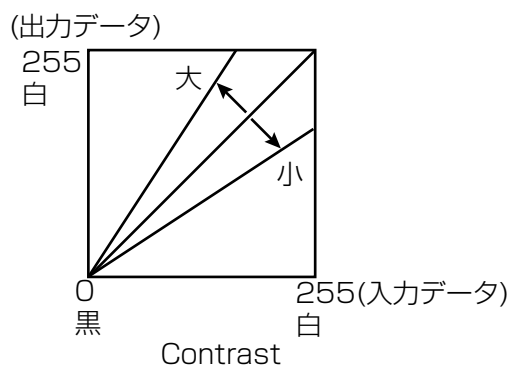
ON : R,G,B を同値に設定します。

OFF : R,G,B を異なった値に設定します。

(出力データ)

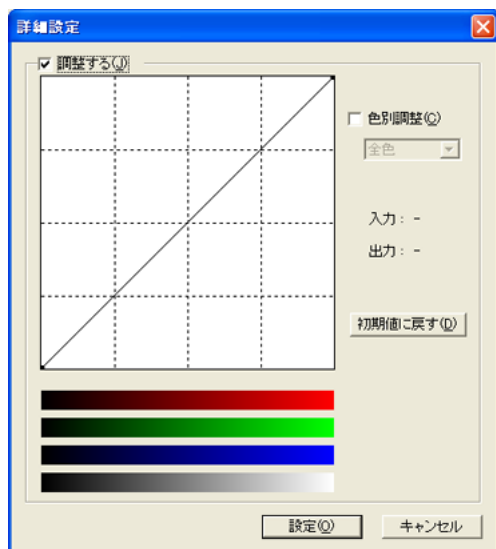


- 4) Contrast
 画像のコントラストを調整します。調整値 (-128 ~ +128)
 Contrast の値が大きいほど、画像のコントラストが強くなります。
 Same チェックボックス ON : R,G,B を同値に設定します。
 OFF : R,G,B を異なった値に設定します。



- 5) 詳細設定
 トーンカーブで、より細かい色調整を行います。
 6) 初期値に戻す
 色調整ダイアログの全ての調整値を 0 に戻します。
 7) ロード
 色調整設定値ファイルを読み込みます。
 8) セーブ
 色調整設定値を保存します。

3.2. 詳細設定ダイアログ



<図 19 詳細設定ダイアログ(Windows XP)>

- 1) 調整する
 色調整を行う場合、チェックしてください。
 2) 色別調整
 ON : RGB 各色を個別に調整します。
 OFF : RGB 各色を同様に調整します。
 3) 調整色選択
 色別調整時、調整色を選択します。
 4) 入出力値表示
 調整ポイントの入力（調整前階調値）、出力（調整後階調値）を表示します。
 5) 初期値に戻す
 全てのトーンカーブを (0, 0) - (255, 255) のリニアな直線に戻します。

4. エラー表示

No.	エラー表示	表示ボタン	処理内容
(1)	プリンタが接続されていません。	OK	OKボタンをクリックし、プリンタを接続(プリンタの電源を入れる /I/F ケーブルを接続する) すると、印刷処理を再開します。
(2)	プリンタからのレスポンスがありません。 プリンタの電源を入れ直してください。	OK	OKボタンをクリックするとダイアログが消え、プリントジョブが削除されます。プリンタの電源を入れ直した後、再度印刷処理を実行してください。
(3)	プリンタにエラーが起きました。	キャンセル	エラーを解除するとダイアログが消え、自動的に印刷処理を再開します。 キャンセルボタンをクリックすると、印刷処理を中止します。プリンタ内の全てのジョブをキャンセルし、印刷処理を中止します。
(4)	メカエラーです。エラー解除後、フィード & カットを行ってください。		
(5)	メカエラーです。エラー解除後、ドアの開閉を行ってください。		
(6)	プリンタのドアが開いています。		
(7)	ドアの開閉を行ってください。		
(8)	用紙とインクリボンの組み合わせが違います。		
(9)	インクリボンがセットされていません。		
(10)	インクリボンの残量がありません。		
(11)	用紙がありません。		
(12)	使用できないインクリボンを検出しました。		
(13)	印刷中にプリンタの電源が切られました。 フィード & カットを行ってください。		
(14)	紙づまりです。エラー解除後、フィード & カットを行ってください。		
(15)	紙づまりです。エラー解除後、ドアの開閉を行ってください。		
(16)	プリンタードライバーで設定した用紙サイズとインクリボンの組み合わせが違います。		
(17)	インクリボンが終了しました。エラー解除後、フィード & カットを行ってください。		
(18)	用紙が終了しました。		

- * パソコン上にエラーが表示されず、プリンタからの印刷も行われない場合は、プリンタの前面インジケータの表示を確認してください。
プリンタにエラーが発生している場合は、エラーを解除すると自動的に印刷処理を再開します。
プリンタの前面インジケータの表示については、CP9810D 取扱説明書を参照してください。
- * 以下のオペレーティングシステムや設定以外でプリンタをご使用の場合は、エラー表示を行わない場合があります。

インターフェース	オペレーティングシステム	設定
USB	Windows2000	「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」に設定されている。
	WindowsXP	
	Windows Vista	

- * Windows 2000/XP、Windows Vista では、プリンタの電源が入っていない /I/F ケーブルが接続されていない場合は、ジョブは削除されません。プリンタの電源を入れる /I/F ケーブルを接続することにより、再度データが転送されます。

- 1) スプールファイル用のハードディスクの確保
スプールファイル用のハードディスクの容量を、使用されるプリンタと印画枚数にあわせ十分確保してください。不足した場合正しく印画できないことがあります。通常、スプールファイル用ドライブはウィンドウズシステムのドライブと同じドライブです。
- 2) プリンタ操作
プリンタ操作については、本体取扱説明書を参照してください。
印画データ転送中および印画実行中にプリンタの電源を切らないでください。
やむなく、電源が OFF した場合、ホストコンピュータの再起動が必要となる場合があります。
(印刷ドキュメントの削除が実行できない場合、ホストコンピュータの再起動が必要です。)
- 3) 色調整の適用範囲について
色調整は背景を含む印画範囲全体に適用されます。
- 4) 「プリンタに直接印刷データを送る」の設定について
プリンタに直接印刷データを送る設定を選択した場合、一部のアプリケーションでオブジェクトが正しく印画されない場合があります。この場合は、「印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う」を選択して印刷を行ってください。
プリンタに直接印刷データを送る設定
CPD9810X : プリンタプロパティシート「詳細設定」 ページ内
- 5) ホストコンピュータとプリンタの接続について
データ転送中にインターフェースケーブルは抜かないでください。
やむなくインターフェースケーブルが抜かれた場合は、プリンタの DATA インジケータの点滅が止まった後、接続を行ってください。プリンタの DATA インジケータの点滅が止まる前にケーブルを接続するとプリンタドライバが正常に動作しなくなる場合があります。
- 6) USB 接続するためのパソコン条件
Windows2000/WindowsXP/Windows Vista プレインストールタイプのパソコン、パソコンメーカーにより USB 動作が保証されているものをご使用ください。
CP9810D は USB2.0 (Hi-Speed USB) インターフェース対応です。
USB2.0 は USB1.1 の完全上位互換のため、CP9810D は USB1.1 インターフェース動作可能パソコンとも接続可能です。
CP9810D を USB2.0 (Hi-Speed USB) でご使用になりたい場合は、パソコン側が USB2.0 (Hi-Speed USB) に対応している必要があります。パソコン側の USB2.0 (Hi-Speed USB) 動作については、ご使用になっているパソコンメーカーにご確認ください。
- 7) USB ケーブルの接続
プリンタドライバのインストール後に USB ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを抜いてから 10 秒以上の間隔を空けてください。間隔をあけずに抜き差しを行うと正常に動作しない場合があります。
- 8) 印刷ジョブ
データ転送中に、スプーラ内の印刷ジョブを削除しないでください。やむなく削除した場合は、プリンタが初期状態になるまで次の印刷を行わないでください。
- 9) 印刷部数
一部のアプリケーションでは、プリンタドライバで設定した印刷部数が機能しない場合があります。アプリケーションの印刷ダイアログボックスから印刷部数の設定を行ってください。
- 10) 残量表示
用紙タブ内の残量は、用紙タブが表示された時にプリンタから情報を読み込み、インクリボン残量をバー表示します。印刷中の場合は、正しい情報が取得できない場合があります。
- 11) 複数台接続
CP9810D を 1 つのパソコンに複数台接続すると、接続した台数分、新しいハードウェアの追加ウィザードが表示され、プリンタドライバのインストールが実行されます。接続したプリンタ分のプリンタドライバがインストールされます。

12) 印刷中のエラー

印刷中に何らかのエラーが発生しても、PCにエラー表示されない場合があります。プリンタの前面インジケータの表示を確認し処置を行うと、印刷処理を再開します。プリンタの前面インジケータの表示と処置については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

13) ポストカードへの印刷

ポストカードをご使用の場合は、用紙サイズより、KG 判(102 × 152 mm)を選択してください。

14) カラーマッチングの設定

プリンタドライバでカラーマッチングをONに設定した場合でも、アプリケーションによってはカラーマッチング処理が有効とならないものもあります。

また、アプリケーションによってはカラーマッチングをOFFに設定しても、カラーマッチングが有効となるものもあります。

15) 印刷実行時、“パラメータの値は無効です。”と表示された場合は、以下のような操作を行ってください。

a) システムプロパティのハードウェアタブより、デバイスマネージャを選択します。

b) ハードウェアの変更スキャンを実行します。

16) Windows Vistaで「プリンタの追加」よりプリンタドライバのインストールを行った場合、インストール後PCを再起動してください。

17) Windows Vistaで複数のプリンタドライバをインストールする場合、すでにインストールされているプリンタドライバにエラーが発生していない状態で行ってください。

お客様の目的に合った使用法

1. プリント画の色調整をしたい場合

(以下の設定を行ってもモニタ表示画像には反映されません。)

- 1) プリント画全体の濃度を濃く(暗く)したい場合
色調整ダイアログの "Brightness" の値を小さくします。
- 2) プリント画のピントが甘い(コントラストが弱い)場合
色調整ダイアログの "Contrast" の値を大きくします。
画像のコントラストが強くなります。
- 3) プリント画の色目を変えたい場合
色調整ダイアログの "Brightness" の値を変更します。
赤みをつける : 色調整ダイアログの "R" の値を大きくします
緑みをつける : 色調整ダイアログの "G" の値を大きくします
青みをつける : 色調整ダイアログの "B" の値を大きくします

4) プリント画の色調整を詳細に行う場合

詳細設定ダイアログのグラフをマウスで動かし、画像全体の濃度を任意の γ 曲線に調整することが出来ます。

入力値に対して、出力値を小さくすると濃度が高く(暗く)、大きくすると濃度が低く(明るく)なります。

2. ICC プロファイルの作成について

ご使用になるシステムに合った ICC プロファイルを作成しプリンタードライバーに設定する場合、下記を参照してください。

- 1) プリンタから ICC プロファイル作成用基準カラーチャートを印刷する場合は、プリンタードライバーを下記のように設定してください。
 - ・ プリンタのプロパティの「色の管理」タブ内に設定されている ICC プロファイルを削除します。
 - ・ プリンタードライバーのオプションタブ内にある「カラーマッチング」は OFF に設定します。
 - ・ プリンタードライバーのオプションタブ内にある「色変換」を「なし」に設定します。
 - ・ プリンタードライバーのオプションタブ内にある「ガンマ」をご使用になる項目に設定します。
- 2) 作成した ICC プロファイルは、プリンタのプロパティの「色の管理」タブから追加を行ってください。

3. 低階調部のグレーバランスを調整したい場合

オプションタブ内にある「発色補正」を使用します。

Yellow の色味をとる : "B" の値を大きくします
Magenta の色味をとる : "G" の値を大きくします
Cyan の色味をとる : "R" の値を大きくします
赤みをとる : "R" の値を小さくします
緑みをとる : "G" の値を小さくします
青みをとる : "B" の値を小さくします

禁止事項について

本ドライバに対して、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止いたします。

免責について

動作環境によっては正常に動作しない場合もあります。また本製品に関していかなる損害(逸失利益、特別な事情から生じる損害等)が発生しても、一切責任を負わないものとします。